2019年（平成31年）4月1日　第37号（通号第83号）

JSSF NEWS 37

Japan Securities Scholarship Foundation

公益財団法人 日本証券奨学財団
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8
東京証券会館3階　URL：https://jssf.or.jp
TEL03-3664-7113　E-mail：jssf.office@jssf.or.jp

財団ロゴマーク決定！

本財団のロゴマークを決定しました。

幸せを呼ぶと言われる青い月（左下）は財団を表し、荒波を乗り越えて羽ばたく奨学生を表しています。

青色は「信頼感、知的、冷静、理知、誠実、爽やか、フレッシュ、清楚、安全」をイメージし、緑色は「自然、バランス、生命、健康、平和、若い、瑞々しい、育つ」をイメージしました。

since 1973

●本財団では、3月にホームページをリニューアルいたしました。
本号でその内容を詳しくお伝えします。

「みらいにつなぐ今をつむぐ」
※財団の想いを言葉にしたものです。

本号の主な内容

●2018年度（第45回）奨学金授与式 …… 2
●2018年度奨学生懇談会 …… 4
●証券奨学生の集い …… 6
●2018年度（第44回）奨学生修了式 …… 8
●証券奨学同友会の活動 …… 10
●2019年度奨学生募集要項 …… 11
●2018年度研究調査･研究出版助成金受給者 …… 12
●2019年度研究調査･研究出版助成募集要項 …… 13
●ホームページをリニューアルいたしました …… 14
●寄附者御芳名 …… 15
●ご寄附のお願い …… 16
●事務局だより …… 16

2018年度（第45回） 奨学金授与式

2018年7月13日（金）　千代田区一ツ橋「如水会館」

2018年度の奨学金授与式は、2018年7月13日（金）東京都千代田区一ツ橋の如水会館において挙行されました。本年度採用された奨学生は、30大学の奨学生58名の皆さんです。おめでとうございます。

来賓として大学の副学長や奨学金を担当されている部門の方々、本財団の役員や、奨学生の選考に当たられた奨学生選考委員の先生方にご臨席賜りました。

本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて45回目となり、本年度採用の奨学生を含めた採用奨学生の総数は3,804名に達しています。

日　時　2018年7月13日（金）午後3時
会　場　東京都千代田区一ツ橋 如水会館

次　第

■開　式

一. 挨　拶　理事長　稲野和利

一. 挨　拶　理事・奨学生選考委員　藤田誠一

一. 奨学生証書授与

一. 祝　辞　お茶の水女子大学 理事・副学長　三浦　徹

一. 謝　辞　奨学生代表 慶應義塾大学大学院 博士課程　周郷万里菜

（敬称略）

■閉　式

以　上

引き続き懇親会

2018年度大学別採用者数

大学名	採用	大学名	採用
北海道大学	3	早稲田大学	2
東北大学	1	横浜国立大学	2
新潟大学	3	名古屋大学	1
筑波大学	1	名古屋市立大学	1
お茶の水女子大学	2	京都大学	3
首都大学東京	1	同志社大学	2
東京大学	1	立命館大学	2
東京工業大学	2	大阪大学	3
一橋大学	1	大阪市立大学	2
慶應義塾大学	2	関西大学	2
上智大学	2	神戸大学	2
中央大学	3	関西学院大学	1
日本大学	2	広島大学	2
法政大学	2	九州大学	2
明治大学	3	総合計	58
立教大学	2		

「奨学生推薦大学連絡会」

奨学金授与式の式典に先立ち、午後2時より「推薦大学連絡会」が開催されました。
この連絡会は、資質優秀な学生の推薦を大学の関係者にお願いするとともに、奨学生への支援に関し連携を図ることを目的として開催しているものです。

奨学生選考委員会委員長及び委員より大学の学生部長をはじめとする奨学金担当者の皆様に対し本年度の奨学生選考の経緯等について説明を行うとともに、今後の奨学生推薦と採用に関する意見交換が行われました。

2018年度　奨学生懇談会

「奨学生懇談会」は、大学・学部・専攻・年次を異にする奨学生相互の交流・親睦を図るため、東京と大阪の2会場において開催しているものです。

東京会場は、東京近郊の15大学に、北海道大学、東北大学、新潟大学、名古屋大学の4大学を加えた19大学で、大阪会場は、京阪神の8大学に、名古屋市立大学、広島大学、九州大学の3大学を加えた11大学で開催しました。

◇奨学生懇談会（東京会場）

2018年10月13日（土）午後1時から世界貿易センタービル39階のチェリールームにおいて開催いたしました。

講演会は、奨学生修了者でありジャーナリストの高世仁様（株式会社ジンネット代表取締役）を講師にお迎えし、「ジャーナリズムの役割～オーバードクターがテレビ屋になって」と題したご講演をいただきました。

講演では、オーバードクター当時にテレビの世界に飛び込んで、アシスタント・ディレクターになった後、やがて新しい自分のテレビ番組制作会社を立ち上げたというジャーナリストになるまでの経緯等のお話をしていただきました。最後に「皆さんもいろいろな現場に行かれると思いますが、その現場で自分が発信しなければいけないのではないか、社会に知らせたほうがよいと思う場合はぜひ積極的に発信して、少しでも世の中の多様性を、豊かな情報をもたらすということに寄与していただきたいと思います。」と締めくくられました。

◇奨学生懇談会（大阪会場）

2018年10月20日（土）午後1時からABC-MART梅田ビル8階のAP大阪梅田茶屋町において開催いたしました。

講演会は、奨学生修了者であり、同志社大学法学部・大学院法学研究科教授梶山玉香先生を講師にお迎えし、「『みんなちがって　みんないい』は理想論か？　～障害者差別解消法とその限界」と題したご講演をいただきました。

講演では、障がい学生支援室長の経験を踏まえ、「法律によって制度を作ることはできるが、制度を動かすにはお金と人が必要となる。「人」は負担感や不公正感が強いと一時的には「理性」でそれを制御できるが、いずれ爆発し、制度そのものを破綻させてしまう。「人」を疲弊させないための仕組みと不公平感を抱かせないための工夫が必要である。」とのお話をしていただきました。最後に「常に「障害者支援」について考えていなくても、頭の片隅にあれば、ひょんなことから、「これって使える？」と専門を活かした工夫に気づくかもしれません。」と締めくくられました。

奨学生懇談会
日本証券

日本証券

日本証券

証券奨学生の集い

2018年度は9大学で「証券奨学生の集い」を開催しました。

それぞれの「集い」にOB・OGが集まり、現役奨学生も余程のことがない限りは全員が参加し、大学からは奨学金を担当する副学長や奨学金の窓口のご担当者にも参加いただきました。また、財団からは稲野理事長、入木常務理事と職員のほか、いくつかの大学では奨学生選考委員が参加しました。

司会進行は主に奨学生が担当し、副学長等の挨拶や乾杯のあと、参加者全員の自己紹介と近況報告が行われ、交流・親睦が図られました。

各大学における「集い」の模様は以下のようなものでした。

1 九州大学（2018年10月29日　於：ANAクラウンプラザホテル福岡）

修了第２期の同友会員を筆頭に幅広い年代の参加者があり、近況報告では丸野理事・副学長を始めOB・OGから質問が飛び交うなど活気溢れる集いとなりました。

参加者15名（奨学生３名、同友会員６名、大学３名、財団３名）

2 北海道大学（2018年11月5日　於：大学内レストラン　エンレイソウ）

イチョウ並木黄葉のなかの開催となりました。進路の報告やOBの大学時代の思い出話に耳を傾け、北海道の料理とワインをいただきながらの交流が行われました。

参加者18名（奨学生７名、同友会員４名、大学４名、財団３名）

3 慶應義塾大学（2018年11月13日　於：大学内レストラン　ファカルティラウンジ）

財団発足間もない頃の修了者に多く参加いただき、また同大学のOBでもある財団の奨学生選考委員の藍澤基彌様の参加もあり、財団の歴史を体感する会となりました。

参加者19名（奨学生５名、同友会員５名、大学５名、財団４名）

4 お茶の水女子大学（2018年11月14日　於：嘉ノ雅　茗渓館）

推薦大学となって間もない（2012年度）なか、修了者にも参加いただきました。華やかな雰囲気のなか、親睦を深めることができました。

参加者11名（奨学生４名、同友会員１名、大学３名、財団３名）

5 大阪市立大学（2018年11月19日　於：燦 ヒルトンプラザウエスト店）

橋本副学長、財団の奨学生選考委員の向山先生や同友会の髙田代表幹事の参加もあり、またかねてからの奨学生同士の交流の効用もあり、和やかな雰囲気の会となりました。

参加者 17 名（奨学生５名、同友会員５名、大学３名、財団４名）

6 新潟大学（2018年11月27日　於：海鮮家　葱ぼうず）

新潟の美味しいお酒と料理をいただきながら、多数の参加者の熱い近況報告に耳を傾け、交流するうちに３時間を超える「集い」となりました。

参加者 23 名（奨学生６名、同友会員８名、大学６名、財団３名）

7 立命館大学（2018年11月19日　於：リーガロイヤル京都）

「京都市清酒の普及の促進に関する条例」により日本酒をいただきながらの会となりました。2018 年度修了の２名の参加もあり、交流が行われました。

参加者 15 名（奨学生６名、同友会員２名、大学４名、財団３名）

8 関西学院大学（2018年12月17日　於：リーガロイヤル大阪）

教授陣に何人もの財団の修了者が存在することを知る機会となり、奨学生や同友会員にとり、より財団を身近に感じていただけたものと思います。

参加者 12 名（奨学生２名、同友会員４名、大学３名、財団３名）

9 首都大学東京及び東京都立大学（2018年12月20日　於：京王プラザホテル多摩）

多くの同友会員の参加があり、昔話に花が咲き、近況報告の話も弾みました。閉会後も名残を惜しむ参加者の姿が見られました。

参加者 16 名（奨学生３名、同友会員６名、大学４名、財団３名）

2018年度（第44回） 奨学生修了式

2019年3月8日（金）
千代田区一ツ橋「如水会館」

2018年度の奨学生修了式は、2019年3月8日（金）東京都千代田区一ツ橋の如水会館において挙行されました。

奨学生を修了された65名の皆さん、おめでとうございます。ご来賓として、推薦大学の副学長や学生部長の方々、本財団役員、評議員、選考委員、証券奨学同友会幹事、ご寄附をいただいた証券業界の方々など、多数のご臨席を賜りました。

本年度の修了式は、1975年の第1回から数えて44回目にあたり、修了者は総勢3,662名となりました。

日　時　2019年３月８日（金）午後３時
会　場　東京都千代田区一ツ橋 如水会館

次　第

■開　式

一．挨　拶　理事長　稲野和利

一．挨　拶　奨学生選考委員会副委員長　小林康夫

一．奨学生修了証書及び記念品授与

一．祝　辞　一橋大学学長補佐　三隅隆司

一．祝　辞　証券奨学同友会代表幹事　髙田とし子

一．謝　辞　奨学生代表 横浜国立大学大学院博士課程　小林勇太

（敬称略）

■閉　式

以　上

引き続き懇親会

2018年度大学別修了者数

大学名	修了	大学名	修了
北海道大学	4	早稲田大学	2
東北大学	3	横浜国立大学	2
新潟大学	2	名古屋大学	3
筑波大学	1	名古屋市立大学	2
お茶の水女子大学	1	京都大学	3
首都大学東京	2	同志社大学	1
東京大学	1	立命館大学	3
東京工業大学	2	大阪大学	2
一橋大学	2	大阪市立大学	3
慶應義塾大学	3	関西大学	2
上智大学	2	神戸大学	2
中央大学	2	関西学院大学	2
日本大学	2	広島大学	3
法政大学	2	九州大学	1
明治大学	2	総合計	65
立教大学	3		

2018年度奨学生修了者の就職・進学の状況

区分	大学院生 博士課程	大学院生 修士課程	大学生	合計	備考
	名	名	名	名	
1. 就職	6	11	23	40	
（内訳）					
一般企業	2	10	18	30	
教育・研究機関	4			4	
公務員			4	4	国家公務員　3名 地方公務員　1名
その他		1	1	2	
2. 進学		4	11	15	同大学大学院　9名 他大学大学院　6名
3. 在学	2	5	3	10	
計	8	20	37	65	

※「3. 在学」は、進路未定者を含む。

「大学連絡会」

奨学生修了式の式典に先立ち、午後2時30分より「大学連絡会」が開催されました。

同連絡会は、推薦大学の副学長をはじめとする奨学金担当者の皆様にご参加いただき、財団より2019年度の奨学生の募集と選考や応募に当たっての留意点などを説明しました。

証券奨学同友会の活動

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的に活動しております

1 機関紙の発行

年1回発行している機関紙「証券奨学同友会報」は、関東地区幹事が編集を担当し、2018年8月に第44号を発行いたしました。

証券奨学同友会報 第 44 号　掲載内容

会員からの寄稿

- 社会人になって　石崎　萌
- 札幌出張と「遠足」　田中勝男
- 証券取弓所、その雄大な歴史　安達勝彦
- NEXTOKYO というプロジェクトに対する所感　増田　悠
- めくるめき官報の世界へようこそ　堀　哲弥
- あの時私は若かった ～とある裁判官の司法修習回想録～　瀬沼美貴
- 大学院生の「集団」の力 —Tokyo Digital History という試み—　小風綾乃（旧姓：山王）

2017 年度総会・懇親会報告

—東西２会場にて今年も現役奨学生との合同懇親会 —

同友会の状況

- 2018 年度　同友会新人会員の大学別内訳
- 2018 年度　同友会新人会員の進路の状況
- 証券奨学同友会幹事名簿

2 証券奨学同友会総会

2018年度の証券奨学同友会総会は、関東地区は9月8日（土）に東京日本橋のホテルオークラレストランニホンバシにおいて、また関西地区は10月21日（日）に大阪北新地のレストラン アラスカ本店において開催しました。

関東地区は会員21名、関西地区は会員13名の参加があり、それぞれ午後2時より開催しました。いずれも最初に髙田とし子代表幹事の挨拶に続き、それぞれ本多一徳関東地区幹事、西垣内琢也関西地区幹事から活動報告があり、次期幹事選出について、両会ともに、全会一致で承認されました。

また、総会終了後の懇親会では、旧交を温めるだけでなく、新たな親交が生まれるなど親睦の輪が広がりました。

奨学生募集要項

2019年度奨学生募集要項（概要）

2019年2月

1. 奨学金の目的及び特色

この奨学金の目的は、資質優秀な大学生、大学院生に対し奨学支援を行い、将来社会の各分野において指導的役割を担おうとする人材を育成し、もって社会の発展、福祉に寄与することにあり、その特色は次のとおりである。

（1）専攻分野は制約しない
（2）奨学金は給与であり、返済の義務はない
（3）学業修了後の進路は、本人の自由とする

2. 応募資格

（1）本財団の奨学生となる者は、本財団が指定する大学又は大学院に在籍し、学業優秀で、心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者でなければならない。
（2）応募対象者は次のとおり
① 大学2年次の者
（本年4月1日現在22歳以下の者）
② 大学院修士課程1年次の者
（本年4月1日現在25歳以下の者）
③ 専門職学位課程1年次の者
（本年4月1日現在25歳以下の者）
④ 大学院博士課程1年次の者
（本年4月1日現在28歳以下の者）

3. 応募方法

奨学金の給与を希望する者は、必要書類を**2019年4月1日から5月8日までの間に在籍する大学を通して本財団に提出すること。**

4. 採用予定人員

60名

5. 奨学金の額

給与月額

	自宅外通学者	自宅通学者
大学生	45,000 円	35,000 円
修士課程生	50,000 円	40,000 円
博士課程生	55,000 円	45,000 円

以　上

※募集に関する詳細は、本財団ホームページをご覧ください。

指定大学

応募ができる大学として、以下の 30 大学を指定しております。
北海道大学、東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、首都大学東京、東京大学、東京工業大学、一橋大学、慶應義塾大学、上智大学、中央大学、日本大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、横浜国立大学、名古屋大学、名古屋市立大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、大阪大学、大阪市立大学、関西大学、神戸大学、関西学院大学、広島大学、九州大学　（北から順）

2018年度 研究調査・研究出版助成金受給者

2018年度の研究調査助成は10件921万円を給付いたしました。また、研究出版助成は4件400万円を給付いたしました。

◇2018年度研究調査助成

2018年度の研究調査助成は、2018年4月から6月末まで募集を行い、22大学24件、申請金額2,306万円のなかから10件921万円の助成を決定し、給付いたしました。

2018年7月30日決定

研究代表者		研究調査課題	研究形態	金額（万円）
大阪市立大学大学院 都市経営研究科 准教授	小関 珠音	革新的科学技術を基盤とするベンチャー企業の資金調達の在り方 ―英国Patient Capital概念の検証を踏まえて	個人	100
明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科教授	加藤 竜太	高齢化社会における産業間の労働移動・失業と女性労働の数値解析的動学一般均衡分析	個人	100
東北文化学園大学 総合政策学部 准教授	久保田 茂裕	日本の経済成長に対するICTの効果に関する研究調査	個人	65
一橋大学 経済研究所 教授	雲 和広	人口減少社会ロシアのゆくえ：ミクロ計量分析とメタ分析による死亡要因の研究	グループ	100
成蹊大学 経済学部 教授	鷹岡 澄子	金融政策出口戦略にむけた債券市場の役割：マイクロデータを用いた期間構造分析	グループ	100
京都外国語大学 国際貢献学部 教授	根本 宮美子	女性役員・管理層の増加と投資家・シェアホルダー役割の比較	個人	100
同志社大学大学院 ビジネス研究科 准教授	野瀬 義明	日本企業が株主優待を実施する要因（financial visibility仮説の検証）	個人	100
東北大学大学院 工学研究科 准教授	福川 信也	社会資本が持続的農業イノベーションの普及に与える影響	個人	100
埼玉大学大学院 人文社会学研究科 准教授	宮田 伊知郎	米国における不動産税の債券化による都心回帰現象とその社会的影響に関する研究	個人	66
神奈川工科大学 情報学部 准教授	八木 勲	投資信託を対象とした分散投資規制が投信構成資産市場に与える影響分析 ～マルチエージェントシミュレーションを用いた分析～	グループ	90
		10件		921万円

（五十音順）

◇2018年度研究出版助成

2018年度の研究出版助成は、2018年6月から9月末まで募集を行い、7大学1研究機関から9件、申請金額900万円の応募があり、このうち4件400万円の助成金を給付いたしました。

2018年10月22日決定

出版代表者（著者）		研究出版物タイトル	出版形態	金額（万円）
福岡大学 法学部 教授	久保 寛展	格付機関の役割と民事責任論―EU法とドイツ法の基本的視座	単著	100
成蹊大学 経済学部 教授	永野 護	新興国市場のファイナンス分析	単著	100
湘南工科大学 工学部 教授	平山 勉	満鉄経営史	単著	100
ニッセイアセットマネジメント株式会社 ファイナンシャルテクノロジー運用室 チーフ・ポートフォリオ・マネジャー	山口 智弘	無形資産価値評価モデルの構築	単著	100
		4件		400万円

（注）本表は辞退者を除いている。

（五十音順）

研究調査助成等の募集要項

2019年度研究調査助成募集要項（概要）

2019年2月

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興を図り、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的として給付する。

2. 助成対象

（1）助成対象者

助成対象者は、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳（本年4月1日現在）以下の研究者（グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい。）とする。

なお、大学院博士課程（博士後期課程）に在籍する者を共同研究者に加えることができる。

（2）助成対象分野

助成対象分野は、証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野とする。

（3）申請の条件

原則として本年10月～翌年9月の研究調査に係る事案とする。

なお、多年度に及ぶ場合には、1年経過毎に中間報告書の提出を条件とする。

（4）その他

① 申請者の所属機関によるオーバーヘッドコスト（管理経費等）は、助成対象としない。

② パソコン等の購入費用は、助成対象としない。

③ 旅費交通費の金額が書籍、情報データ購入あるいは備品の購入等の総金額を超えてはならない。

3. 助成金の額等

1件当たり100万円程度（1万円単位）とする。

なお、助成金総額は1,000万円を予定している。

4. 申込期間

2019年4月1日から6月30日（必着）まで

以　上

2019年度研究出版助成募集要項（概要）

2019年2月

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査成果の公表等に係る出版費用の助成を行い、学術の振興を図り、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的として給付する。

2. 助成対象

（1）助成対象者

助成対象者は、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳（本年4月1日現在）以下の研究者（グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい。）とする。

なお、大学院博士課程（博士後期課程）に在籍する者を共同研究者に加えることができる。

（2）助成対象分野

助成対象分野は、証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野とする。

（3）申請の条件

- 申請時に完成原稿を提出すること。
- 2020年3月までに出版すること。

3. 助成金の額等

1件当たり50万円から100万円程度（1万円単位）とする。

なお、助成金総額は500万円を予定している。

4. 申込期間

2019年4月1日から6月30日（必着）まで

以　上

※募集に関する詳細は、本財団ホームページをご覧ください。

ホームページを リニューアルいたしました

いつも本財団のホームページをご利用いただきありがとうございます。

この度、ホームページをリニューアルいたしました。利便性の向上とコンテンツの充実を図るとともに参加型のホームページを目指して運営して参りますので、ご協力と積極的なご参加をお願いいたします。

サイトマップ

- TOP ページ
  - 奨学金について
  - 研究調査助成金について
  - 研究出版助成金について
  - インフォメーション
  - 設立の経緯
  - グローバルメニュー
    - 財団について ― 理事長挨拶／財団の概要／公開情報／事業の推移／役員体制・組織図／事務局情報
    - My メッセージ ― 山中伸弥氏／前哲夫氏／隈研吾氏／稲野和利氏／西美奈氏
    - 修了者インタビュー ― 廣瀬克哉氏／田中瑞穂氏
    - 事業実績（統計） ― 奨学生事業／研究調査・研究出版助成事業／事業実績／過去の事業対象一覧（外部リンク）
    - 寄附者一覧 ― ご寄附のお願い
  - 奨学生・OB・OG 専用サイト ― （※パスワードが必要です）
  - JSSF ニュース
  - 新着情報

今回のリニューアルでは、利用者の方々が簡便な操作で必要な情報にたどり着けるなど、快適にご利用いただけるよう工夫するとともに、新たなコンテンツを新設しました。

また、スマートフォン等での閲覧を可能とするマルチデバイス対応を行いました。

修了者インタビューの新設

各界で活躍中の奨学生修了者の方々にインタビューを行い、奨学生当時の学生生活、思い出等々を語っていただきました。また、「後輩へ一言」として奨学生の皆さんへの言葉をいただいています。※インタビューを受けていただける方を募集しています。

寄附者一覧の新設

COMING SOON!

掲示板がリニューアルされます

「奨学生・OB・OG 専用サイト」の掲示板に代わり、奨学生、同友会員の交流、情報交換等にご利用いただける「**大学別掲示板**（仮称）」の新設を予定しています。

開設の折には是非ともご参加ください！

寄附者御芳名（2018年3月～）

寄附年月日	御　芳　名	区分	金額（円）	御　趣　旨
2018.3.29	日本証券金融株式会社 殿	法人	719,815	貸借取引に係る株主優待券等を有効利用して証券界に寄与するため
2018.5.21	元奨学生　幸田 亮一 殿	個人	500,000	財団の奨学事業支援のため
2018.6.18	株式会社岡三証券グループ 取締役副会長　加藤 哲夫 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して奨学支援のため
2018.7.17	匿名	個人	100,000	財団の奨学支援事業のため
2018.9.25	匿名	法人	500,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2018.10.4	匿名	法人	34,181	奨学事業支援のため
2018.10.13	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2018.10.13	元奨学生　秋葉 就一 殿	個人	3,000	財団の奨学事業支援のため
2018.11.26	元奨学生　渡邉 保 殿	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2018.12.3	元奨学生　吉田 学 殿	個人	20,000	財団の奨学事業支援のため
2018.12.4	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2018.12.14	SMBC日興証券株式会社 執行役員 本財団資産運用委員会委員 服部 博則 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2019.2.27	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2019.3.28	日本証券金融株式会社 殿	法人	2,876,845	貸借取引に係る株主優待券等を有効利用して証券界に寄与するため

以上の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

★これまでに頂戴したご寄附については、ホームページの「寄附者一覧」に掲載しております。

ちょっとタイムスリップ

故 瀬川初代理事長

この絵画は、オランダの画家 J,C,V,D Heijden（1911-1992）の作品です。

作者は、オランダ・ハーグ王立美術学院出身で、オランダ国内を中心に活動していました。

本財団の初代理事長の瀬川美能留氏（当時野村證券株式会社会長、1991 年 9 月 10 日ご逝去）が渡航された際、風景画を描写中の作者本人と出会ったことから交流が生まれ、瀬川氏から 1983 年 10 月に本財団に寄贈されました。

本作品は財団会議室に飾られています。

ご興味のある方は是非事務所にお越しいただき、実物をご鑑賞ください。

訃　報

2018年8月10日、本財団の元理事長である岩﨑輝一郎様（元野村證券株式会社取締役副社長、株式会社エグゼクティブ・パートナーズ特別顧問）がご逝去されました。

岩﨑元理事長は、かつて野村證券勤務時代に瀬川美能留氏（本財団初代理事長）の秘書を務め、本財団の設立に関わられていました。

2010年6月の本財団理事長就任後は公益財団法人移行、育英奨学事業の拡大に尽力されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2018年8月25日、石弘光先生（元一橋大学学長、元放送大学学長）がご逝去されました。

石先生には、長年に亘り本財団の理事、研究調査助成選定委員会委員長としてご尽力いただきました。

亡くなられる前年に日本経済新聞に寄稿された闘病生活のコラム「向き合う」や著書『末期がんでも元気に生きる』等に遺された数々の言葉は、重くありながらも快闊で正に石先生「らしさ」に満ちており、それだけに寂しさが募ります。

石先生の財団に対するご尽力に感謝いたしますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

ご寄附のお願い

有為な人材の育成のため、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先

日本証券奨学財団事務局
電話：03-3664-7113（Fax：03-3662-1607）
E-mail：jssf.office@jssf.or.jp

●お振込先

口座名義：コウエキザイダンホウジン　ニホンショウケンショウガクザイダン　リジチョウ　イナノカズトシ
公益財団法人　日本証券奨学財団　理事長　稲野和利
口座番号：みずほ銀行　兜町証券営業部
普通預金　0510181

ご芳名を本財団のホームページ等に掲載いたしております。
なお、匿名を希望される方はお申し出ください。

事務局だより

昨年（2018年）10月以降、財団が入居している「東京証券会館」からいくつかの証券関連団体が日本橋に移転しました。

財団事務局では「旨そうな店が多いな」「茅場町から歩けるね」などの理由から日本橋三越辺りを有力な引っ越し候補地に認定したところです。

「神田」「上野」「飯田橋（神楽坂）」も準候補です。

と、ここまで書きましたが、我々は「ローマの休日」のヘップバーン風に「茅場町！」です。

そして財団の引っ越し話は、あくまでも「本紙が4月1日発行だからの『妄想』」です。

なにしろ移転の計画そのものがないのですから。。。

奨学生やOB・OGの皆様方も近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

公益財団法人
日本証券奨学財団
since 1973
みらいにつなぐ今をつむぐ

制作・発行　公益財団法人 日本証券奨学財団
〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町1-5-8　東京証券会館3階
TEL：03-3664-7113　FAX：03-3662-1607　URL：https://jssf.or.jp